仙台荒町子まもりプロジェクト連携図



「実践コース」の活動内容は参加者同士のディスカッション。 和やかな雰囲気の中、意見を交わしました



各事例にコメントする「SDGs とうほく」の紅邑晶子さん

荒町小学校区内 どが中心となり、 市民センターな の企業や店舗 荒町児童館、荒町 商店街振興組合、 仙台市の荒町

仙台荒町子まもり プロジェクト

は、参加者が携わる具 た「みやぎSD て紹介し合い 3 タ G 前 S 期 塾·実践 \bigcirc 体的な事例につ を深めました。 第 コース」で 口 とな

よる防犯教室の実施など、各団体が各々の ロウィンイベントの開催、市民センターに 加者からの質問にも答え、「商店街によるハ の実行委員長を務める荒町商店街の庄子 たちを犯罪などから守ろうとする活動です。 一さんが取り組みについて紹介。他の参 今回の「SDGs塾」では、プロジェクト

校、各種団体、個人が連携して地域の子ども

野 **X** 組 3 から学ぶ

まった参加者は、それぞれの企業・団体の

塾」?の第3タームが始まりました。集

月29日、河北新報社で「みやぎSDG

事例や現状について情報交換しました。



第 21 号

2023年12月28日(木)

行:河北新報社営業局 特別協力:SDGsとうほく



] んぼうぐバ ジャ パン宮城支社では、事 ンク

子どもたちに届ける試み「ぶんぼう ていない文房具を集めて困っている 分千春さんから、家庭などで使われ 組みを続けてい の 両 面 で S D ます。同じ G s を重 社の

) た 取

5 環

「ぶんぼうぐバンク」の活動で集まった文房具

まし

会を目指す「サ

の考

TOPICS

る仕組みを作ることで廃棄物が出ない社

は、製品の設計段階から資源を循環利用す

ろ、60キログラムほどの文房具が集まった

高校生が環境活動を発表

視

宮城県循環型社会推進課の工藤初芽さん

I コノミー

のイベント時に来場者に呼びかけたとこ

バンク」について紹介されました。顧客向け

SDGS塾に参加し意識・行動が変化

仙台荒町子まもりプロジェクトの連携図

「みやぎSDGs塾」への参加をきっかけに、先 進的な取り組みをしている企業のオフィス見学、 SDGS関連のセミナーへの参加など、私自身の ・行動も変化しました。今後は、自社の社員 人一人の意識改革を目指せるような職場環境づく りについて考えていきたいです。



山大 本郷友恵さん

? みやぎSDGs塾って?

説明しました。参加者からは「互いの顔が

見える関係の中で楽しく防犯意識を高め

参加者の

意見を交わす機会にもなっている」などと

負担で活動を実践する」「地域課題について

られる」など、感心する声が上がりました。

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企 業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みや ぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進す る人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成する「標準コース」 と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2 講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。



令和6年 1月12日金 14:00~

会場 TKPガーデンシティ仙台 (宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER 30階) Zoomでのオンライン参加も可

お申し込みは QRまたは URLから





https://forms.gle/oh6WZjtiDEAVzF4H6

「サーキュラーエコノミー」を考えるセミナー (2024年1月12日開催)



Ğ

s

塾・標準コース」も、新たな

トしました。

sアンバサダー

-」を養成する

「SDGs塾」の参加者とのつながりか ら、新たな活動が生まれることも

参加はこちらから!

みやきざひらい

賛同企業





[申し込み・問い合わせ] 河北新報社営業局 TEL / 022-211-1318

MAIL/koukoku@po.kahoku.co.jp

標準コ



「みやぎSDGs塾・標準コース」第3ターム前期のメン バー。各々、参加した理由や、今後に向けた意気込みを発 表しました

~「アンバサダー」目指して学ぶ~ 新メンバーで始動



「みやぎSDG 一層高まったようでした。 シバーでスター

サーキュラーエコノミー が 製造業の持続的な未来をつくる

る17の項目について 困、飢餓、ジェンダー 国、飢餓、ジェンダー SDGsとうほく」の紅邑晶子さんが、貧 、の本郷友恵さんが、「SDGs塾」で得 さらに、第2ター 循環型社会の実現に向けた活動を続ける 参加者一同は新たな仲間に出会い への影響などについて報告しました。 識や、活動を通して生まれたつながり 17の項目について解説しました。 た今回は、東北地方を中 ムから参加している山 など国連が目標を掲げ 、学ぶ 自 72

NII. 共に学ぶ

仲間と出

会う

活用する節水栽培の研究に取り組んだ青森県 立名久井農業高等学校が地方大会最優秀賞を 受賞、2024年2月に東京で開催される全国大 会出場校に選ばれました。 できなかった

ティ仙台で開かれました。

同校2年・大坊隆司さんは「全国大会に出場

し交流する「第9回全国ユース環境活動発表大 会」の東北大会が12月10日にTKPガーデンシ

東北6県から13の高校が参加。農業水を有効

みんなの分も 頑張りたい」と 決意を新たに していました。 【情報提供/環境 再生保全機構】



● 第3ターム参加者(敬称略) ●

【あすなろ学院】 佐々木陵太、齋藤学 【荒町商店街振興組合】 庄子康一 【YES工房】 大森丈広 【エントワデザイン】 佐藤寛和 【オフィス塩騒】 加藤貴伸 【環境再生保全機構】 【高速】 高橋篤 【国分東北】 佐藤悟 【スタイルスグループ】 千田佳子 【ソニーピープルソリューションズ / 多賀城工場地帯連絡協議会】 大谷哲也 【タイハク】長坂孝裕、南條世紀【竹鶏ファーム】赤渕利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、矢島迅人、森勇大、小泉一也【日建リース工業】工藤雅人、鈴木健太郎【フクダ・アンド・パートナーズ】加藤祐、阿部真美【松島蒲鉾本舗】葛西健太郎【宮城県民共済生活協同組合】草薙聖樹、 遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美【ミライトス】鈴木圭介【山一地所】原田千純、熊谷健太郎【山大】髙橋拓宏、本郷友恵、三上明子【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【尚絅学院大学】大沼晃太郎、猪野拓歩【宮城大学フードサービス論研究室】斎藤真里奈、 曽根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

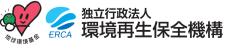
● 賛同企業・団体・個人 ●

都道府県民共済グループ









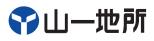






○ 国分東北

みやぎ生協









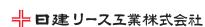




















荒町商店街振興組合 YES工房 |特別協力| SDGsとうほく



オフィス塩騒



多賀城工場地帯連絡協議会 **WACO CREATE** 千葉よかこ JICA東北 尚絅学院大学SDGsセンター 宮城大学フードサービス論研究室